

南高百景

時計のある校舎



校長先生のごあいさつにもあるように、現在大規模な校舎改築工事がおこなわれています。今後数年間のあいだに南高の校舎も様変わりします。そこで南高の古い、そしてまた新たな風景を見ていこうと考え、今回新たに「南高百景」と題したコラムを設けることにしました。従来の「南高今昔」と使い分けながら掲載しようと考えております。よろしくお願いします。

さて、その第一回目は第一校舎中央棟(時計塔)をとり上げました。この第一校舎中央棟は正門から一直線上にあり、門を入ってすぐに目に飛び込んできます。その重厚な造りと圧倒的な存在感、そして屋上には時計塔。現在の耐震基準もクリアする強度とそのフォルムは、かつて南高の中枢を担う管理棟であったであろうことを彷彿とさせます。この中央棟は昭和三十一年に新築され、現在まで南高の大切な機関を内包する校舎として機能してきました(最後は進路指導室、生徒指導室、パソコン教室が位置していました)。また時計塔は昭和四十四年に卒業生の寄付により完成しました。

個人的なことになりますが、私が四年前に南高に赴任したときにまず目に留まったのがこの校舎及び時計塔でした。この校舎を見たとき「ああ、南高に帰ってきたのだな」と感じ、二十数年のギャップが埋まるような気がしました。私にとってこの

時計のある校舎こそ南高の象徴なのです。またこの棟はかつて高校入試の合格発表にも使われていました。現在は北体育館の正面に掲示板を設置して発表を行っています。以前はこの中央棟の2階から合格者の名前が書かれた板が掲げられていました。私が高校入試をしたころもそうであったことを覚えています。

このように個人的にも思い入れのある校舎が変わってしまうのは大変残念です。しかし時代とともに建物がかわっていくのは仕方ありません。何年か後、新しい校舎が建ちます。そしてそれが新たな南高の顔となり、卒業生の思い出に残るものになっていくことでしょう。私も卒業生の一人として、この新しいものを受け入れつつ、古い風景も大



昭和47年頃



昭和40年頃



現在

切にしたいと思っています。

香友会事務局 亀田 直樹